

九月、東京の路上で



初演舞台より 撮影○姫田蘭

現実の事件に取材したオリジナル作品のみならず、世界を牽引する報告劇を翻訳上演してきた、燐光群。現実の風景に残された「消せない過去」に挑む。昨年7・8月に初演し、各紙・誌で高い評価を受けた話題作が、早くも再登場。

中山マリ 鴨川てんし 川中健次郎 猪熊恒和 大西孝洋  
さとうこうじ 円城寺あや 咲田とばこ 鬼頭典子 荻野貴継  
樋尾麻衣子 杉山英之 武山尚史 山村秀勝 渡部彩南

原作は、1923年9月・関東大震災直後の出来事を、時系列を追って検証する同名ブログを元に刊行された、加藤直樹のノンフィクション。殺害や暴行があった各地を取材、刻一刻と広がるデマ・殺害行動など、96年前の東京を「追体験」させる。

バーベイトム・シアター  
燐光群【報告劇】翻訳上演史

- 2001『ララミー・プロジェクト』アメリカのヘイト・クライム殺人事件に取材、オフ・ブロードウェイでロングラン、映画化もされた傑作。
- 2002『CVR チャーリー・ビクター・ロミオ』日米合作。圧倒的なサウンド。コックピット・ボイス・レコーダーの記録を「再現」した迫真の演劇体験、社会的話題に。
- 2004『ときはなたれて』冤罪が証明され死刑囚監房から生還した人たちのインタビューをまとめた、全米死刑廃止運動のシンボル作品。
- 2005『パーマメント・ウェイ』ロンドン・ナショナルシアターで人気を博したデイヴィッド・ヘア三部作の第一弾、鉄道事故の原因である「民営化」に迫る。
- 2006『スタッフ・ハブズ』イラク戦争はなぜ起きたか、様々な国の思惑を、戦争の実態と交錯させながら描く、ヘア作のバーベイトム・シアター第二弾。
- 2010『ザ・パワー・オブ・イエス』作者自身も登場してリーマン・ショックがなぜ起きたかを関係者の証言・データから探る、ヘアの三部作の到達点。

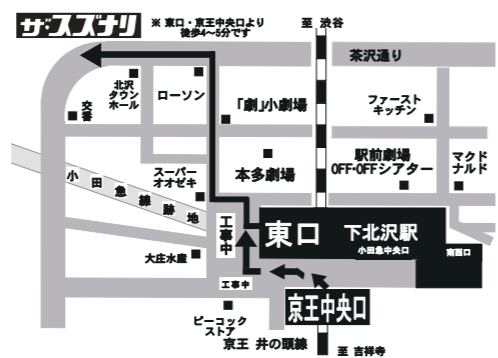
【アフタートーク】次の回の終演後は、坂手洋二とゲストによるトークを予定しています。

- 16(土)加藤直樹(ノンフィクション作家) / □18日(月)林海象(映画監督) / □21日(木・祝)堀潤(ジャーナリスト・キャスター)
- 25日(月)有田芳生(参議院議員・ジャーナリスト) / □27日(水)中川五郎(フォーク歌手) / □28日(木)古川健(劇団チョコレートケーキ座付き作家)
- 29日(金)金守珍(演出家・新宿梁山泊代表・映画監督) / □30日(土)19:00 林あまり(歌人・演劇評論家)

照明○竹林功(龍前正夫舞台照明研究所)  
音響○島猛(スタジオオフィス)  
舞台監督○久寿田義晴  
美術○じょん万次郎  
衣裳○小林巨和(『九月、東京の路上で』) ぴんくぱんだー・卯月(ReMemory)  
演出助手○村野玲子  
文芸助手○清水弥生 久保志乃ぶ 中山美里  
宣伝意匠○李潤希  
協力○浅井企画 劇団ジャブジャブサーキット 文学座  
ジョリーアンリミテッド 公益財団法人セゾン文化財団 森下紀彦  
制作○古元道広 近藤順子  
主催○(有)グッドフェローズ  
Company Staff○桐畑理佳 川崎愛美 田中結佳 宗像祥子 鈴木陽介  
鈴木菜子 福田陽子 西川大輔 宮島千栄 橋本浩明 内海常葉 秋葉ヨリエ

【岡山公演】4月6日(土)・7日(日)天神山文化プラザ

燐光群 <http://rinkogun.com>  
世田谷区梅丘1-24-14 フリート梅丘202



世田谷区北沢1-45-15  
03-3469-0511

小田急線・京王井の頭線  
「下北沢駅」東口改札より徒歩4〜5分。ホームから改札まで離れているのでご注意ください。

劇団員募集!  
俳優・演出助手・劇作家・舞台スタッフ・スタジコ運営スタッフ・制作スタッフ等を募集しています。

サポートスタッフ募集!  
チラシの折込や、公演時に受付まわりをお手伝い頂ける方を募集しています。交通費補助あり。興味のある方、まずはrinkogun@alles.or.jpまでお問い合わせください。

梅ヶ丘BOX お貸しします!  
照明・音響・空調完備。芝居の発表会や稽古等にご利用頂けます。約15坪。小田急線梅ヶ丘駅徒歩1分。スモークマシン、高速白黒印刷機、プロジェクター、スクリーン等のレンタルあり。長期割引あり(応相談)。お問合せ○グッドフェローズ 03-3426-6294 umegaokabox@gmail.com



©李潤希

ここはほんとうに、オリンピックにふさわしい場所なのか。

私は、ヘイトスピーチの怒号が飛び交う路上にいた。

トーカーは、多様な人びとが住む、ひらかれた場所のはずだった。

96年前、関東大震災。

多くの「異邦人」が殺された。

この街で、誰が、何をしたのか。

この平野のあちこちで発された「殺せ」という叫びは、今もどこかで響き続けているのか。

# 九月、東京の路上で

原作—加藤直樹  
作・演出—坂手洋二

「九月、東京の路上で」1923年関東大震災ジェノサイドの残響(ころから刊)

3.15 [金] — 31 [日] 下北沢ガ・スズナリ

※19日(火)・20日(水)・23日(土)・26日(火)は休演

燐光群

